神主さんに聞いた 幸せを招く お正月 Q&A

保存版

ご自由にお持ち帰りください

令和３年の干支（えと）は丑（うし）

Q 初詣はいつまでに行くのがいいの？

A まず家の神棚にお参りし、地域の神社〔氏神（うじがみ）さま〕へは三ヶ日、遅くとも小正月（１月15日）までが目安です。

“初詣”とは一年のはじまりの神さまへのごあいさつ

お正月がくる前に家の内外をきれいにして、年神さまをお迎えすることが運気を良くします。元日の「初詣」は「家の神棚」にお参りするところから始めます。その後、あなたの守り神である地域の神社へ参拝に行きましょう。
氏神（うじがみ）さまは、富山県神社庁のHPで検索できますよ！

スマホ検索やQRコードで自分の氏神さまを確認！
富山県神社庁　氏神神社

神社のこともっと教えて

神社は、身体の“厄”を祓うとともに、心身の環境も整える場所です。正月をはじめ季節や人生の節目節目にはおまいりし、神さまに守られ、導かれていることへの感謝やこれからの健康などをお祈りするのが伝統です。

Q 人生儀礼って？

A 人生の節目の大切なおまつりです。

人が生まれ、一生の間に行う人生の節目にある大切な神事のことです。初宮参りからはじまり、七五三詣、合格祈願、厄除、成人式、結婚式、安産祈願、還暦や古稀などの長寿の祝まで多数あります。

令和3年版　厄年表（数え年）

	前厄	本厄	後厄
男性	24歳 平成10年生・寅（とら）	25歳 平成9年生・丑（うし）	26歳 平成8年生・子（ね）
	41歳 昭和56年生・酉（とり）	42歳 昭和55年生・申（さる）	43歳 昭和54年生・未（ひつじ）
	60歳 昭和37年生・寅（とら）	61歳 昭和36年生・丑（うし）	62歳 昭和35年生・子（ね）

	前厄	本厄	後厄
女性	18歳 平成16年生・申（さる）	19歳 平成15年生・未（ひつじ）	20歳 平成14年生・午（うま）
	32歳 平成2年生・午（うま）	33歳 昭和64/平成元年生・巳（み）	34歳 昭和63年生・辰（たつ）
	36歳 昭和61年生・寅（とら）	37歳 昭和60年生・丑（うし）	38歳 昭和59年生・子（ね）

後厄の翌年は無事に過ごせたことに感謝して「厄明（やくあ）け御礼」のお参りをします。

身祝い（男女共）

還暦(61歳)	昭和36年生・丑（うし）	米寿(88歳)	昭和9年生・戌（いぬ）
古稀(70歳)	昭和27年生・辰（たつ）	卒寿(90歳)	昭和7年生・申（さる）
喜寿(77歳)	昭和20年生・酉（とり）	白寿(99歳)	大正12年生・亥（い）
傘寿(80歳)	昭和17年生・午（うま）	上寿(100歳)	大正11年生・戌（いぬ）

七五三

年齢	数え年	満年齢
7歳　女	平成27年生・未（ひつじ）	平成26年生・午（うま）
5歳　男	平成29年生・酉（とり）	平成28年生・申（さる）
3歳　男女	平成31/令和元年生・亥（い）	平成30年生・戌（いぬ）

数え年とは生まれた年を「1歳」とし、お正月を迎えるたびに、1つずつ年齢を重ねる伝統的な数え方です。

Q 厄祓・身祝いのご祈願を受ける時期は？

A 正月から節分までです。

社会・生活環境の変わり目でもあり、体調不良が重なりやすいと言われる厄年。一般的には1月1日～2月3日までの間に神社で厄祓いを受けますが、地域によりますし、お参りしやすい季節に家族でお参りしても良いでしょう。厄年期間は普段以上に心身の健康にご留意を！

Q ご祈願を受ける際に準備するものは？

A 祈願料とお酒等が必要です。

参拝予約や持参品は神社により異なりますので、事前にお問い合わせください。〔初穂料とお供えのお神酒（清め酒・祝い酒）・鏡餅等〕
神さまへのこれまでの感謝とこれからのことを祈るため、上着や襟がある服装で、ジーンズなどの軽装は避けましょう。

Q 祈願料の「のし袋」お酒の「のし紙」の書き方は？

A 祈願料は「初穂料」または「玉串料」、お酒は「奉納」「奉献」「御神酒」等です。下には名前を書きます。

祈願料

お酒

その他色々なご祈願については、地元の氏神さまの神主さんに直接、お気軽にお問い合わせください。

写真やイラストはイメージで一例です。
発行／富山県神社庁

Q どうしてお正月飾りをするの？

A 年神さまを歓迎するためです。

年神さまとは、新たな一年を生きる力と恵み・幸福をお授け下さる神さまです。自然をはじめ暮らしのあらゆるところに神さまがお宿りになり、人々をお守り下さっています。八百万（やおよろず）の神さまがいらっしゃる日本。「八百万」とは「無数の」という意味です。
ひとつひとつのお正月飾りの意味を知って、神さまをお迎えする準備を整えましょう。

注連飾り（しめかざり）・注連縄（しめなわ）〔〆縄〕

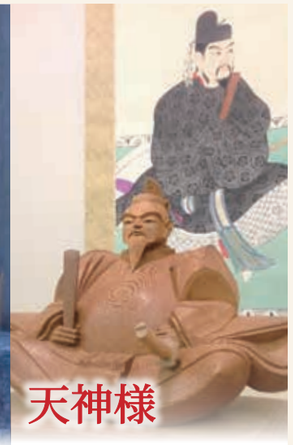
年神さまをお招きするために大掃除を終え、“清浄な家”であることのしるしとして玄関に飾ります。神棚の「しめ縄」も毎年、新しく取り替えます。

鏡餅

家にお迎えした年神さまへのお供え物で、年神さまが宿る神聖な餅。1月11日の「鏡開き」に下げ、雑煮やおしるこにして食べて神さまのお力をいただきます。

門松

年神さまが降りてこられる際の目印として、玄関の両脇に立てます。古来、神さまは緑豊かな常緑樹に宿るとされ、その代表である「松」を用いられるようになりました。



天神様

富山県ではお正月に学問の神さま菅原道真公をおまつりします。掛け軸や木彫りを床の間に飾り、鏡餅やお神酒などをお供えします。お飾りする期間は12月25日～1月25日です。

Q お正月飾りの取り外しは？

A 「松の内」（1月7日）、「鏡開き」（1月11日）「左義長」・「小正月」（1月15日）などが目安です。

左義長
一年お守り頂いた神さまに感謝を込めて

一年間、おまつりしたお神札やお守り、破魔矢・熊手などの縁起物、お正月飾りは感謝を込めて神社にお納めし、清浄な火でお焚き上げしていただきましょう。地域によって行われる日が異なったり、お焚き上げできないものがあったりするので、地元の神社にお問い合わせください。

Q はじめてお神札（ふだ）を受けました！おまつりの仕方は？

アパートやマンションでも、お神札をおまつりして日々の感謝の祈りをしてみてはいかがでしょうか。

A 目線より高い位置で南または東向きの明るい場所におまつりしましょう。

お神札をまつるには、米や酒、塩、水などをお供えし、左右に榊を立てるのが一般的ですが、神棚やスペースに合わせて調整可能です。神社の建物を小さくした宮型、壁掛け式や洋室向けなど種類も多彩。好みに合わせて大きさやデザインを選んでOK。

一社宮

コンパクトな神棚。お神札を重ねておまつりします。

三社宮

扉を３つもつ三社宮。お神札をまつる場所がそれぞれあります。

お神札とは？

神社の神さまのお力が宿るのがお神札。なかでも大きなお力を宿す日本人の総氏神さま、伊勢神宮のお神札「天照皇大神宮」を必ず中心におまつりします。

どのお神札を選ぶべき？

伊勢神宮のお神札「天照皇大神宮」と、地元の「氏神神社」のお神札、個人的に崇敬する神社のお神札をおまつりします。「天照皇大神宮」と「氏神神社」の２体のお神札は必須です。

お神札を受けるのは一度だけ？

神さまが新たなお力で守ってくださるよう、お神札は毎年取り替えて新年を迎えます。伊勢神宮のお神札「天照皇大神宮」は地元の神社でも受けることができます。古いお神札は感謝の気持ちを込めて神社へ返納しましょう。

神棚がまだない場合は？

タンスや本棚の上、棚やボードなどお部屋の高い位置に白い紙を敷いてお神札をおまつりする方法もあります。形にこだわらずにできることから始めてみましょう。
ちなみに神棚は神具店・ホームセンターで購入できます。